

# 2001/6期第2Q（10～12月）決算と 今後の見通し、経営方針

2001年2月

代表取締役 藤原 洋

株式会社インターネット総合研究所

Internet Research Institute, Inc.

# ● 決算概要と今後の見通し

# 部門別売上～主力のIOP事業は高成長キープ



		97/6	98/6	99/6	99/9	99/12	00/3	2000/6	2000/6	00/9	00/12
					1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q
<b>[売上]</b>											
IOP事業	百万円	67	167	261	119	122	139	252	632	200	214
前年比	%	---	150.8%	56.3%					142.1%	68.1%	75.9%
ADR事業	百万円	---	95	195	1	167	10	11	189	12	13
前年比	%	---	---	104.9%					-3.0%	955.2%	-92.5%
PDS事業	百万円	22	143	141	12	7	9	2	30	5	7
前年比	%	---	539.4%	-1.2%					-78.9%	-59.3%	-0.2%
その他	百万円	2	5	129	10	6	4	266	286	17	33
前年比	%	---	155.8%	2486.1%					122.4%	66.4%	437.3%
合計	百万円	91	410	725	143	301	162	530	1,137	235	266
前年比	%	---	350.9%	77.1%					56.7%	64.1%	-11.5%
<b>[シェア]</b>											
IOP	%	73.3%	40.8%	36.0%	83.2%	40.5%	85.9%	47.4%	55.6%	85.2%	80.5%
ADR	%	---	23.2%	26.8%	0.7%	55.6%	6.1%	2.0%	16.6%	5.1%	4.7%
PDS	%	24.6%	34.8%	19.4%	8.4%	2.3%	5.3%	0.4%	2.6%	2.1%	2.5%
その他	%	2.1%	1.2%	17.8%	7.0%	2.0%	2.7%	50.1%	25.2%	7.2%	12.3%
合計	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(1)

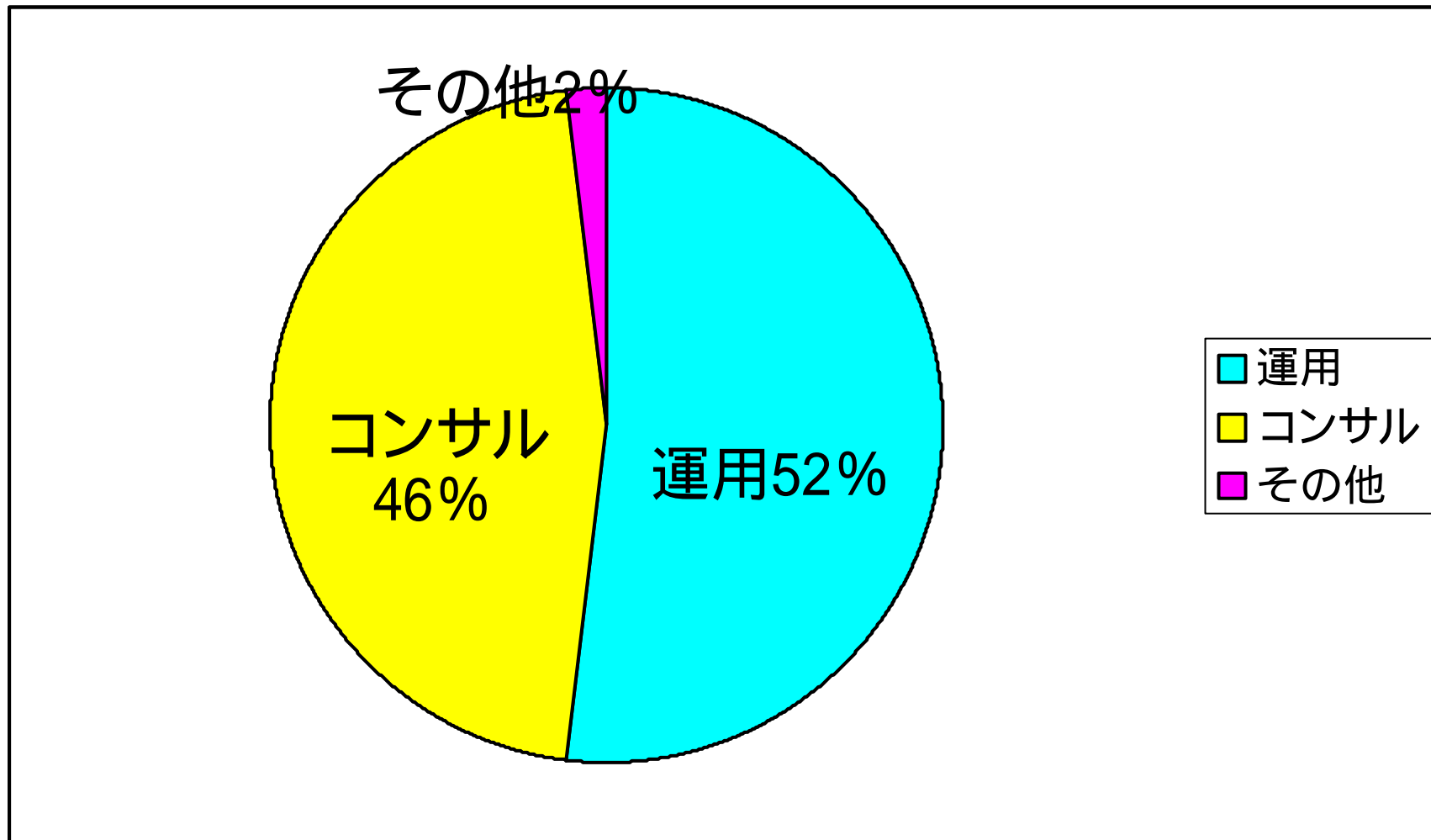
(2)

(1) データセンター-GCTRやJPIX向け売上は拡大だが、比較的高採算のNTT関連向けのコンサル収入は減少。GCTRやJPIX向け2社合計の売上構成比：2000/6上期29% 2001/6上期38%。

(2) 前年比では大幅減収だが、99/12(前年2Q)に一時的な売上(機器関連)145百万円を計上したため。

- **【3大ユーザー】 = 売上全体 (2001/6上期) の約48%。**
- GCTR (グローバルセンター・ジャパン)
- NTTドコモ
- JPIX (日本インターネットエクスチェンジ)
  
- **【その他大口ユーザー】 = 10大ユーザーで、売上全体 (2001/6上期) の約78%。**
- IP通信事業者
- DSL事業者
- メーカー・ベンダー・商社
- 大学など

# 事業内容 ~ コンサル主体から運用主体へ



# P/L ( 単体 ) の変化推移



		97/6	98/6	99/6	99/9	99/12	00/3	2000/6	2000/6	00/9	00/12
					1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q
売上高	百万円	91	410	725	143	301	162	530	1,137	235	266
前年比	%		350.9%	77.1%					56.7%	64.1%	-11.5%
売上原価	百万円	44	248	382	97	264	121	110	593	119	172
前年比	%		464.1%	54.0%					55.1%		
原価率	%	48.4%	60.6%	52.7%	67.9%	87.8%	74.8%	20.8%	52.2%	50.5%	64.7%
売上総利益	百万円	47	161	343	46	37	41	420	544	116	94
前年比	%		244.6%	112.6%					58.5%		
利益率	%	51.6%	39.4%	47.3%	32.1%	12.2%	25.2%	79.2%	47.8%	49.5%	35.3%
販管費	百万円	44	148	271	114	145	135	89	483	156	185
前年比	%		235.8%	83.6%					78.3%	36.6%	27.8%
対売上比率	%	48.4%	36.1%	37.4%	79.9%	48.1%	83.2%	16.8%	42.5%	66.5%	69.5%
営業利益	百万円	3	14	72	-68	-108	-94	331	60	-40	-91
前年比	%		381.1%	428.5%					-16.1%		
利益率	%	3.1%	3.3%	9.9%	-47.8%	-35.9%	-58.0%	62.4%	5.3%	-17.0%	-34.2%
営業外収益	百万円	1	0	3	0	1	4	5	10	3	8
営業外費用	百万円	1	4	11	1	24	2	4	32	22	16
経常利益	百万円	3	10	64	-70	-131	-93	331	38	-59	-100
前年比	%		257.4%	530.1%					-40.3%		
利益率	%	3.1%	2.5%	8.8%	-48.7%	-43.4%	-57.2%	62.4%	3.3%	-25.0%	-37.5%
特別利益	百万円	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	百万円	0	2	0	0	0	0	25	25	0	10
税引前利益	百万円	3	10	64	-70	-131	-93	306	13	-59	-110
前年比	%		256.0%	532.6%					-79.4%		
法人税住民税	百万円	2	6	46	1	-0	1	30	31	1	3
実効税率	%	70.7%	59.9%	72.7%					237.1%		
法人税等調整額									-22	0	37
当期利益	百万円	1	4	17	-70	-130	-94	298	4	-60	-149
前年比	%		388.4%	330.3%					-78.1%		

← (1)

← (2)

← (3)

次ページ  
参照

## 2001/6期第2Qは、実質71%増収



- (1) 2Qは見掛け上、前年比では減収。99/12に一時的な売上(機器関連)で145百万円あったため。実質は71%増収
- (2) 2Qは1Qと比較して売上総利益率悪化 = データセンターやJPIX向け売上は拡大だが、比較的高採算のNTT関連向けのコンサル収入減少。
- (3) 人員増強(先行投資)による人件費増加
- [人件費] 2000/1Q 0.7億円 2001/1Q 1.4億円 2Q 1.7億円
- [従業員数] 2000/6月末57人 9月末67人 12月末75人

# B/S ( 単体 ) の変化推移



( 100万円 )	97/6	98/6	99/6	99/9	99/12	00/3	00/6	00/9	00/12
流動資産	123	157	800	574	11547	8940	8507	8130	7869
現預金	49	29	412	325	11240	8776	4148	3105	3833
有価証券	0	0	0	0	0	0	3800	4801	3803
営業未収金	33	103	355	219	268	122	508	198	203
固定資産	26	111	177	214	252	2546	3057	3414	3506
有形固定資産	5	18	15	45	13	14	36	36	47
無形固定資産	3	3	57	93	43	37	30	31	9
投資その他資産	18	90	106	106	195	2496	2991	3329	3451
投資有価証券	2	17	19	19		650	742	1017	1057
関係会社株式			0			589	1004	1097	1212
出資金			0			1100	1098	1077	1069
資産合計	153	272	979	790	11801	11488	11565	11545	11375
流動負債	91	143	254	141	406	198	52	92	72
営業未払金	2	3	49	16	197	23	3	15	25
短期借入金	53	80	55	32	124	98	0	0	0
1年以内返済の長期借入金	0	2	16	16	17	16	0	0	0
固定負債	0	63	112	107	102	90	0	0	0
長期借入金	0	8	56	52	48	44	0	0	0
負債合計	91	206	366	247	508	288	52	92	72
資本金	60	60	350	350	2050	2050	2050	2050	2050
資本準備金			240	240	9421	9421	9421	9421	9421
剰余金		5	23	-47	-177	-271	42	-18	-167
資本合計	61	65	613	543	11293	11200	11513	11453	11304
負債・資本合計	152	271	979	790	11801	11488	11565	11545	11375

- (1) 待機資金は、MMFなど元本保証商品で運用
- (2) 関係会社株式増加 = 周辺コア事業への出資
- (3) 無借金だが、状況に応じて資本構成変化も

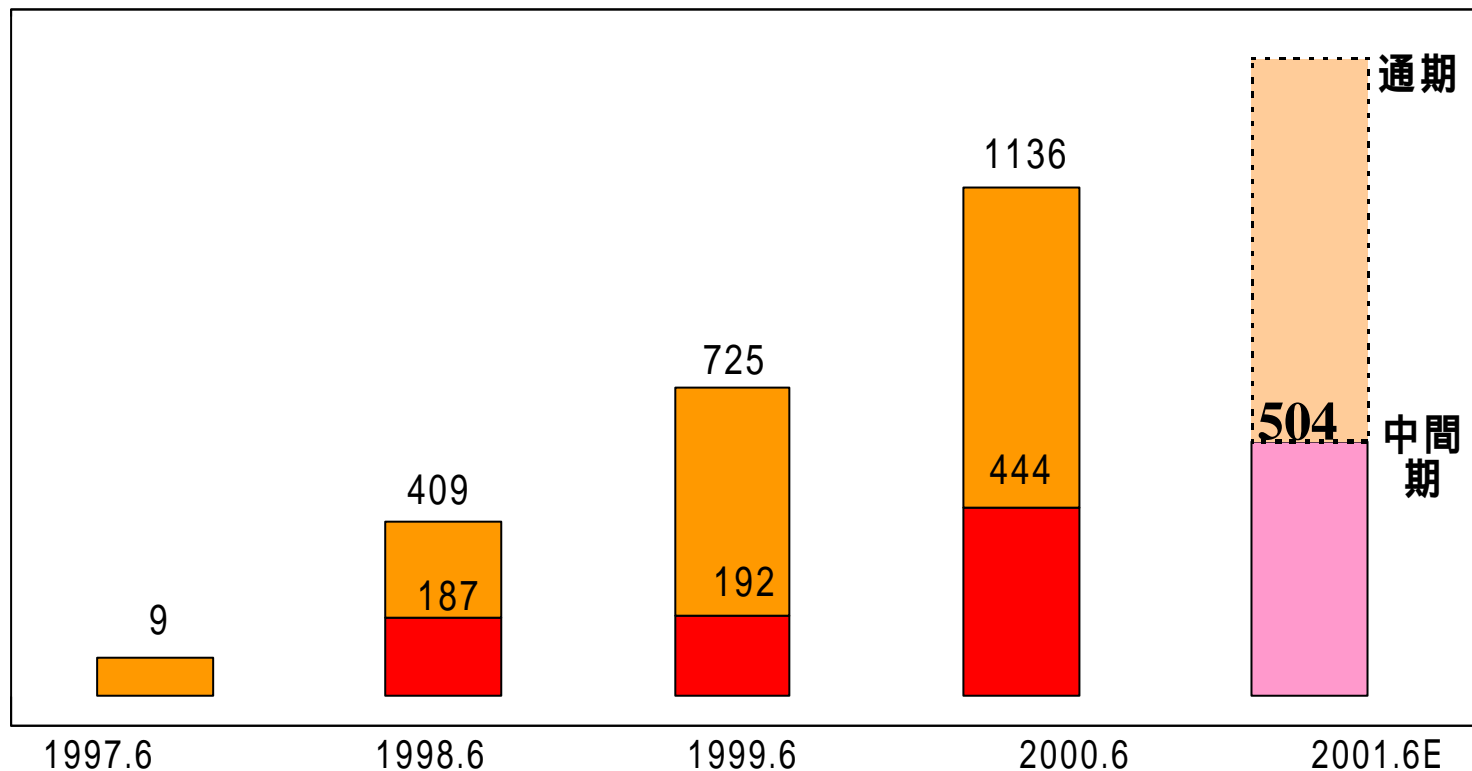


# 連結 / 単体比較 ~ 連結対象企業は若干の赤字



2001/6期 第1+2Q	連結A (百万円)	単体B (百万円)	連単差額A-B (百万円)	連単倍率A/B (倍)	
売上高	505	501	4	1.01	
売上原価	295	291	4	1.01	
売上総利益	210	210	0	1.00	
販売費	364	341	23	1.07	
営業利益	-154	-131	-23	1.18	IRI-USA
営業外収益	13	11	3	1.27	
営業外費用	155	38	117	4.06	持分法投資損益113百万円 (主にベルハートの投資消去差額)
経常利益	-295	-159	-137	1.86	
特別利益	25	0	25	--	
特別損失	10	10	0	1.00	
税引前利益	-281	-169	-112	1.67	
法人税等	3	4	-0	0.97	
法人税等調整額	37	37	0	1.00	
当期利益	-321	-209	-112	1.54	

# 2001/6期連結売上は順調に拡大予想



96/12 : 会社設立  
日本テレコム  
ISP事業参入へ  
のコンサルティング開始

97/7 : JPIX  
(日本初の商用IX)  
設立に参加、技術部門  
を全面受託

97/11 : JPIXが  
サービス開始

98/7 : NTTドコモの  
新インターネットサービス  
"mopera"のシステム構築  
コンサルティング開始

99/6 : ヤフー(株)、  
キヤノン(株)、住友商事(株)、  
NTTドコモ(株)、  
ソフトバンク(株)と資本提携

99/12 : 東証マザーズへ  
第1号上場

00/1 : グローバルセンター  
ジャパン設立

00/4 : グローバルセンター  
ジャパンサービス開始

# 連結対象会社と戦略的パートナー



分類	会社名	事業内容	現在の出資比率%
連結子会社	IRI USA, Inc.	米国におけるインターネット業界・企業の情報収集、及び、インキュベーション	100.0
	IRI C&T	Eコマース関係ASP企業のインキュベーション、管理	100.0
	IRI F&T	ファイナンス・テクノロジー関係ASP企業のインキュベーション、管理	100.0
	(株)インター・テレワーク	在宅勤務者、SOHOワーカーへの総合支援事業	61.8
	(株)ブロードバンド・イクスチェンジ	ブロードバンド情報のためのインフラ及び配信サービス事業のための企画会社	50.0
連結対象の関係会社	(株)インターネットC&O	ネットワーク、サーバサイトやNetwork Operation Center、などの監視・運用・保守サービスを24時間体制で提供	25.5
	ヘルパート・インターネット・コミュニケーションズ(株)	テレマーケティング、コールセンターからWEBにおけるユーザーサポートなどを総合提供	20.0
	番組情報データベースセンター(株)	番組情報データベースの情報提供及び配信	31.3
	メディアサイト(株)	映像検索システムのライセンス販売、構築支援	27.8
	(株)コスモ・インタラクティブ	Webシステム構築、コンサルティング、ホームページ作成	40.1
	モバイル・インターネットキャピタル(株)	モバイル及びインターネット関連にフォーカスしたベンチャーキャピタル	30.0
	(株)インターネット・ツィーアイエス	インターネットとモバイルを連係させた地図情報システム及びサービス提供	27.8
	ワールドアクセル(株)	ネットワーク機器の企画・開発	16.2
	(株)イーブックイニシアチブ・ジャパン	インターネットによる電子本販売 低コストの電子書籍出版サービス	11.3
えな収 る影 益に 会響 社を 重与 大	グローバルセンター・ジャパン(株)	インターネットデータセンター(IDC)事業。IRIがシステム設計、構築、運用を100%受託	11.0
	日本インターネットイクスチェンジ(株)	日本最大の商用IX(インターネット事業者間の相互接続サービス)。IRIは構築と運用・サポートを100%受託	2.0

Copyright

## 【プラス要因】

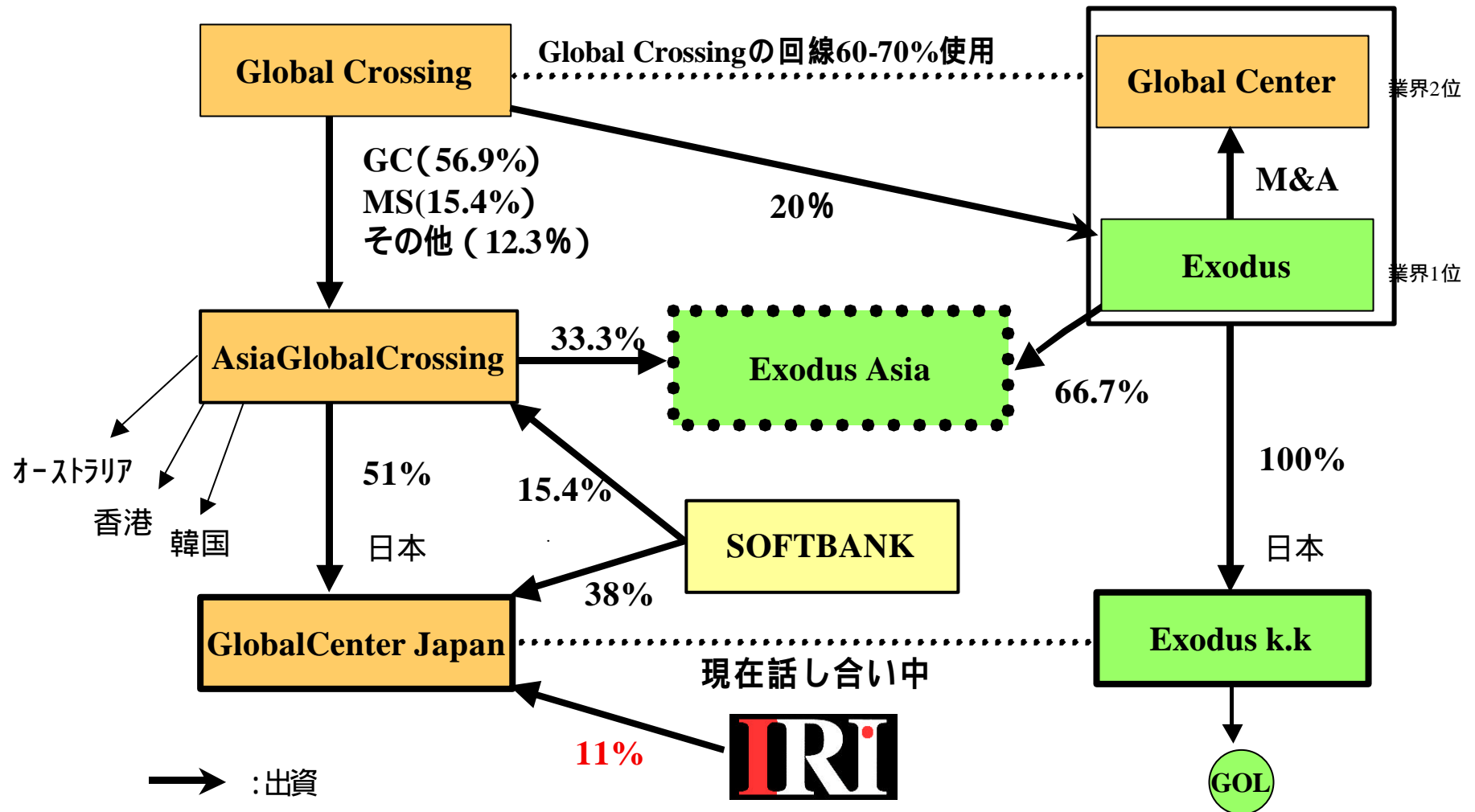
- (1) JPIX向け売上は順調拡大。さらに、データセンター（GCTR）向けも順調拡大。
- (2) 2000/6期計上の一時的費用（上場費用や引越費用）9000万円の消滅

## 【マイナス要因】

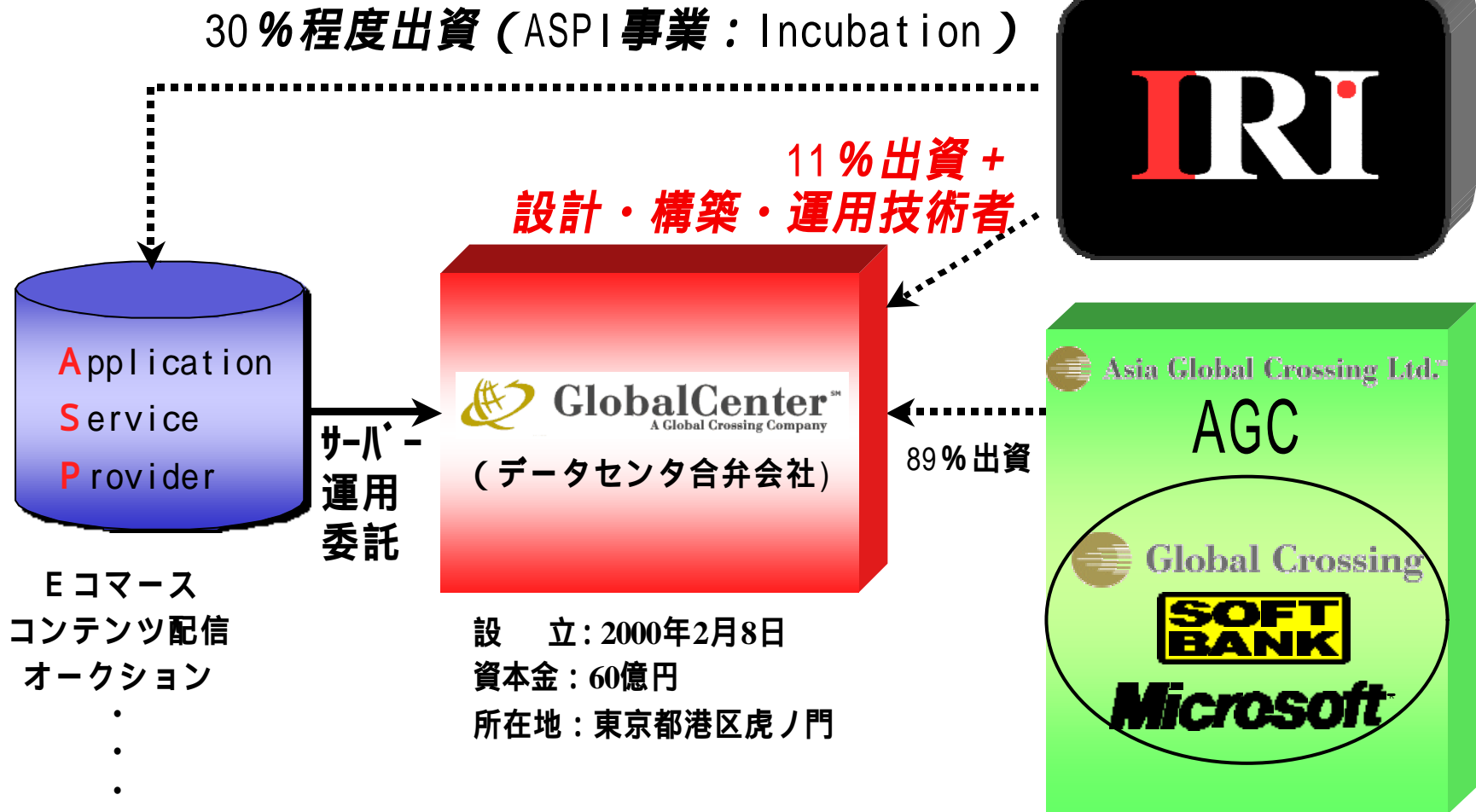
- (1) 高採算のコンサルティング事業の減少
- (2) 新規事業（BBXなど）の立ち上げに伴う人件費の増加  
[従業員数] 2000/6末57人 2001/6末100人近くに
- (3) 研究費（各種実験、事前調査など）や広告宣伝費、募集費などの増加

- **当面の収益基盤 ~  
iDC事業の現況と見通し**

# ExodusがGlobalCenterを買収した影響



# 今後の株主間及びサービス契約については交渉中



# GlobalCenter Japanの現状及び計画



2000年 4月：第1サイト サービスイン（都内）

同 7月：第2サイト第1期工事完了サービスイン（都内  
1500平米 = 350ラック） 予約ベースで  
ほぼ完売

同11月：第2サイト第2期工事完了サービスイン（都内  
1500平米 = 350ラック）

2001～2002年：第3サイト検討中だが、EXODUSと調整

GlobalCenter Japanのロケーションは都心立地

(1) 都心の方がバックボーンの良い

(2) CSP、ASPを提供する人が都心に多く、メンテナ  
ンス等に行きやすい（エンジニアが集まりやすい）



# 顧客拡大に加え、高付加価値戦略を展開へ



## 基本収入

- ・ コロケーション料金
- ・ 帯域料金
- ・ 監視サービス

+

## 付加価値サービス収入

- ・ ストレージ
- ・ セキュリティ
- ・ 決済・認証
- ・ データマイニングなど

—

## 支出

- ・ 設備投資
- ・ 回線費用
- ・ 設備使用費用
- ・ 人件費など

=

損益

# ● 当面の経営面での力点

# 事業の「選択と集中」、4つの基本方針



## 方針1： コア事業への集中

IX、iDC、BBX事業などインターネット・インフラ運用事業

## 方針2： 周辺コア事業の展開

「24時間運用・保守事業」、「カスタマーサポート事業」、「Web構築支援事業」、「Eコマース支援事業」、「IT人材育成・供給事業」、「ブロードバンドコンテンツ制作支援事業」、「ブロードバンド・プラットフォーム開発支援事業」

## 方針3： コーポレートガバナンスを基本とした経営体制の強化

## 方針4： IT分野におけるオリジナル技術の確立

データセンターや24時間監視事業の  
しっかりとしたオペレーションと規模の拡大 (M&A含む)

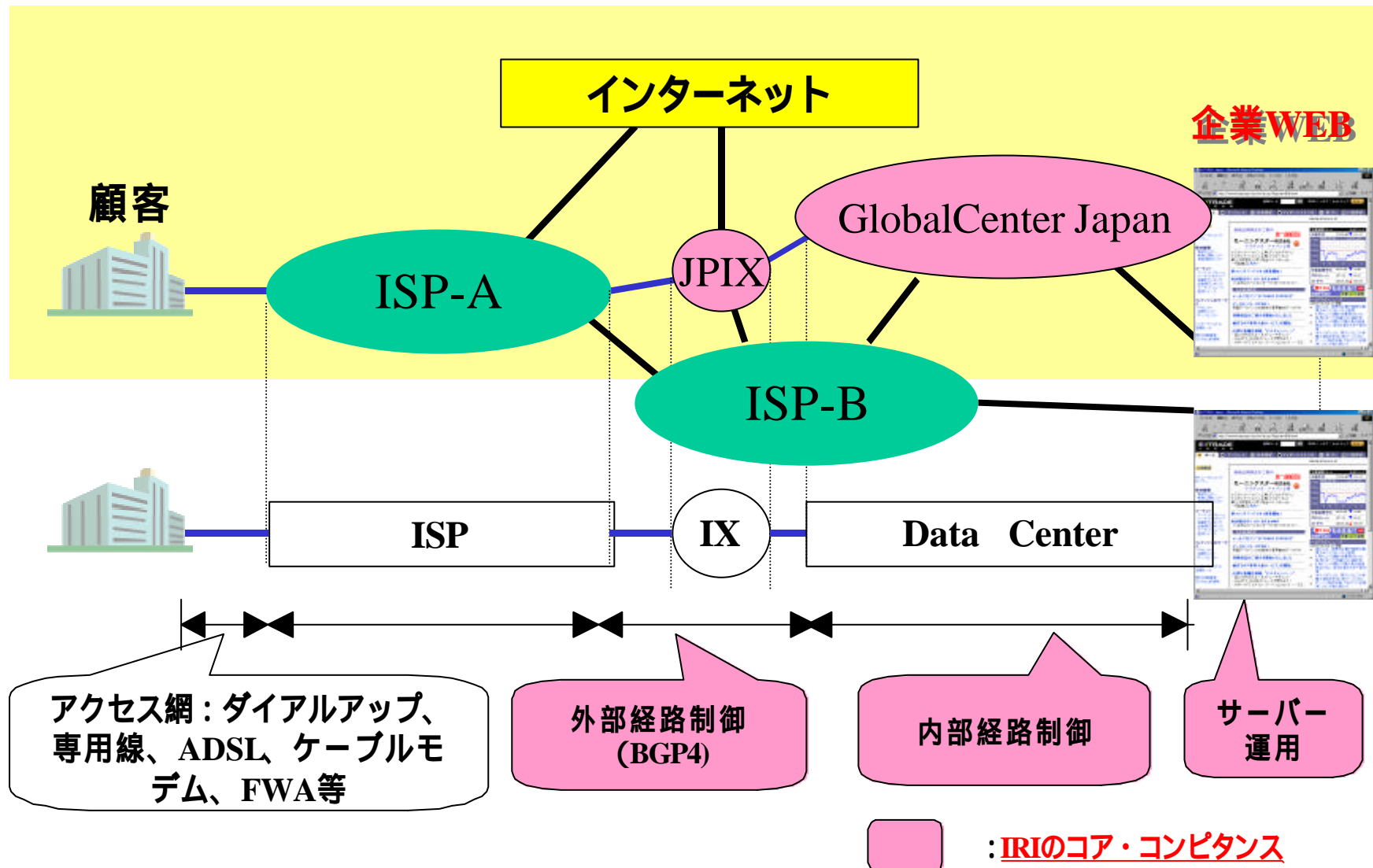
コアコンピタンスの確認と第3の収益柱の立ち上げ

収益力と成長力を考慮した事業ポートフォリオの構築  
JPIX インターネットデータセンター BBX

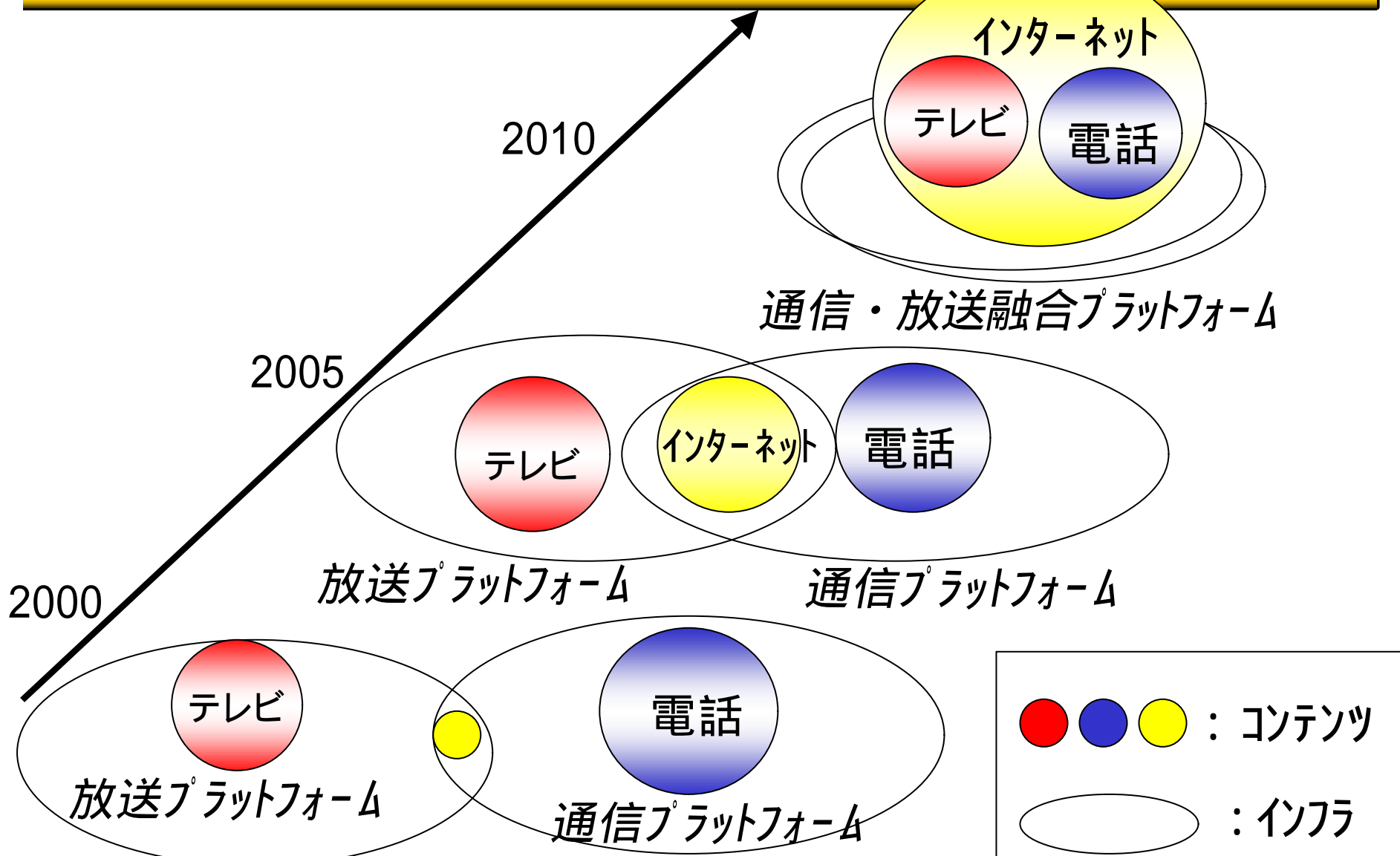
優秀な人材の獲得・教育・強化 (M&A含む)

サーバー・ルーター・ネットワークエンジニア、  
システム・データベースエンジニア、  
営業・事業企画・コンサルティング

# コア・コンピタンス = トラフィック制御+サーバ-運用



# コンテンツとプラットフォームの両面で進む通信と放送の融合

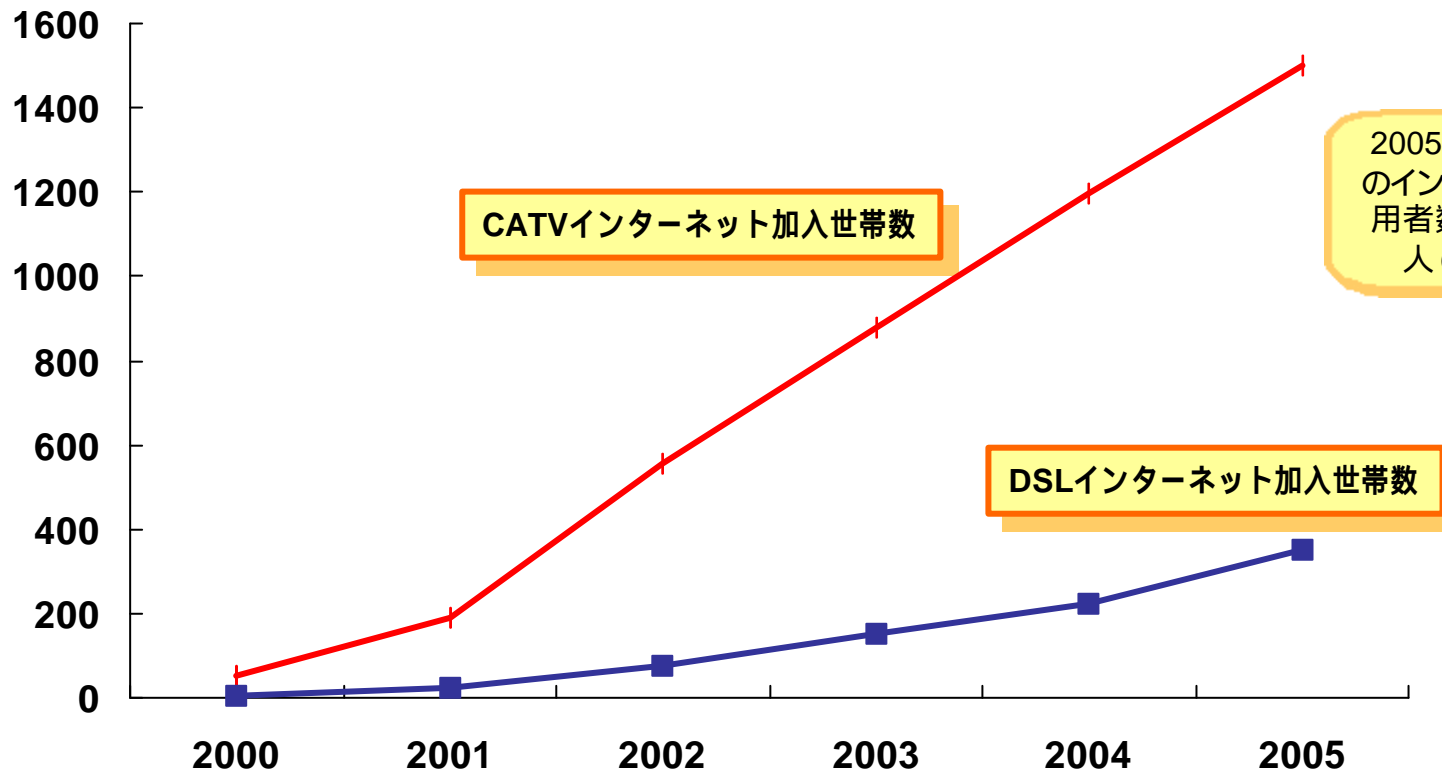


# ブロードバンド市場の急拡大



(万世帯)

## 国内CATV・DSLインターネット加入世帯数予測



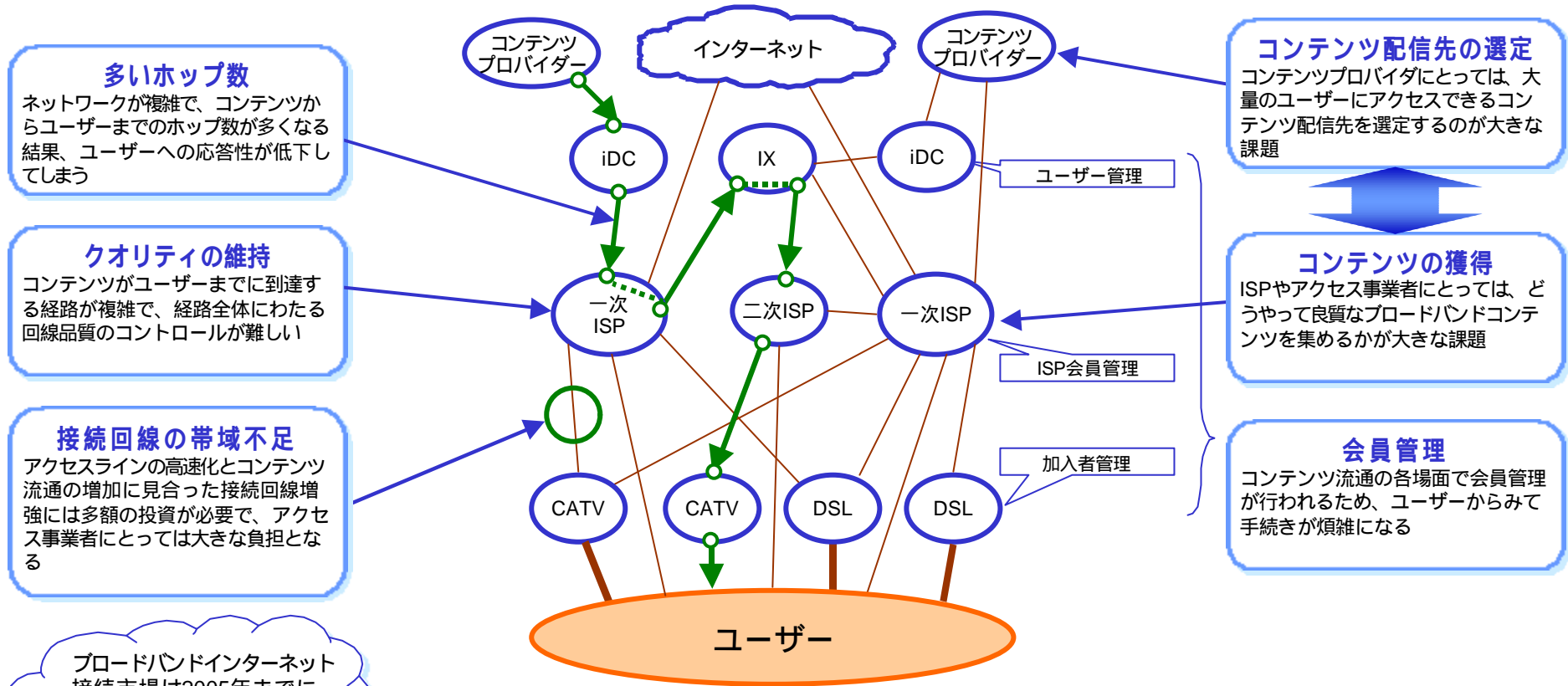
2005年には日本のインターネット利用者は7700万人(郵政省)

CATV・DSLインターネットの他にもIMT-2000、FTTHなどの普及によるブロードバンドインターネット時代が訪れる。

# ブロードバンドネットワーク実現のための課題



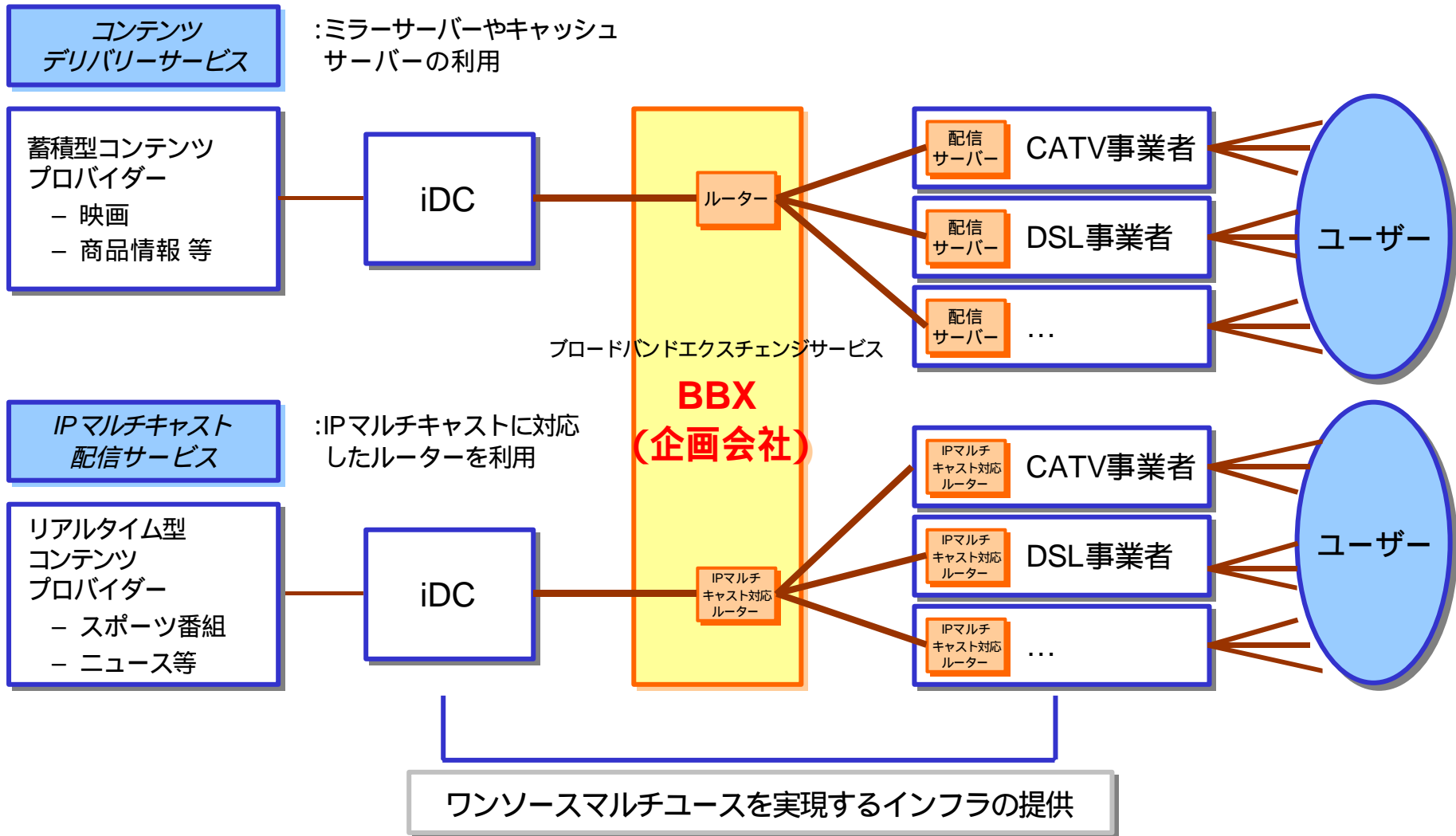
ブロードバンドネットワーク実現のためには、アクセスラインの高速化の他にも様々な問題を解決する必要がある



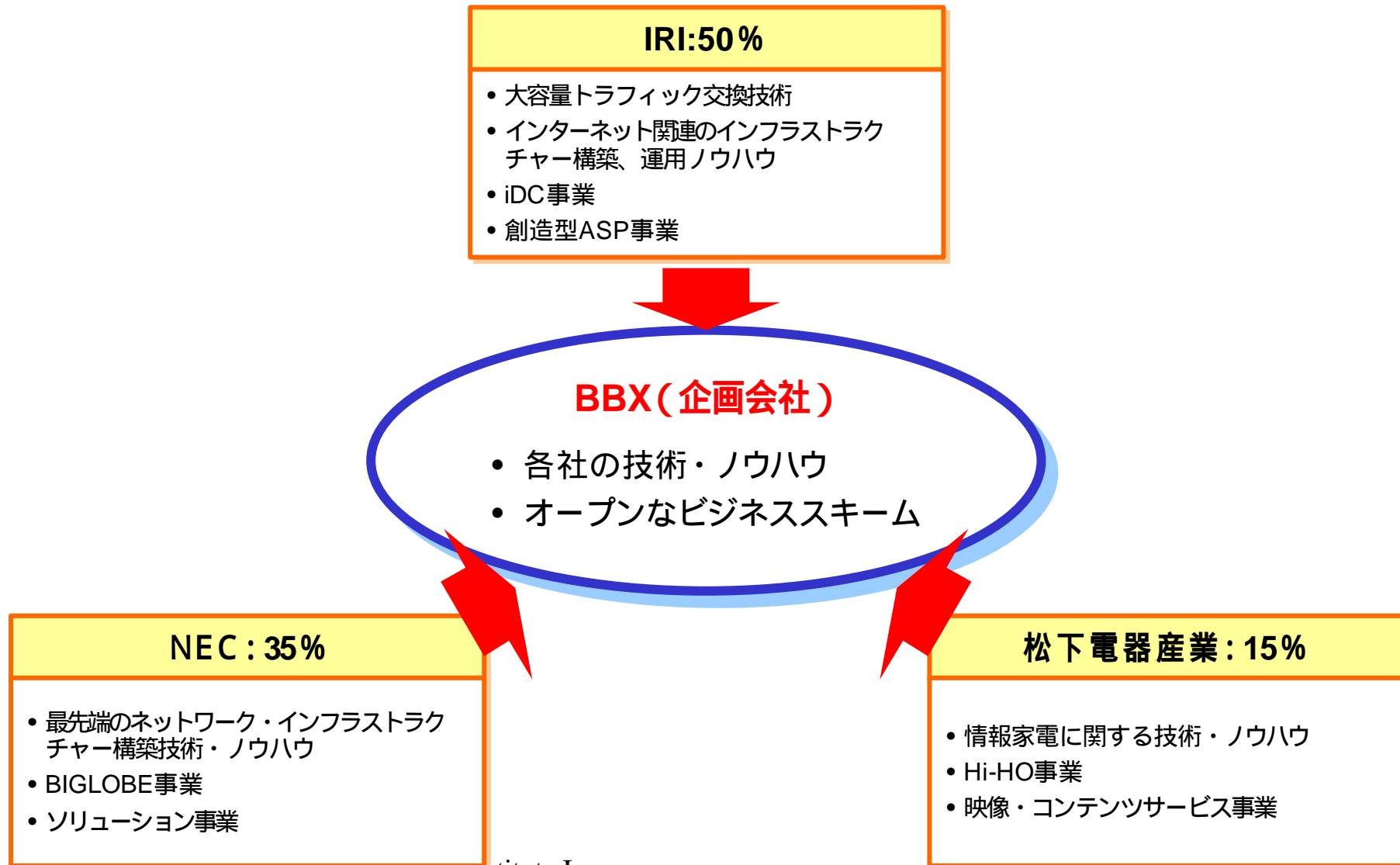
ナローバンドネットワークの延長ではなく、ブロードバンド時代にあったネットワークの再構築が求められている



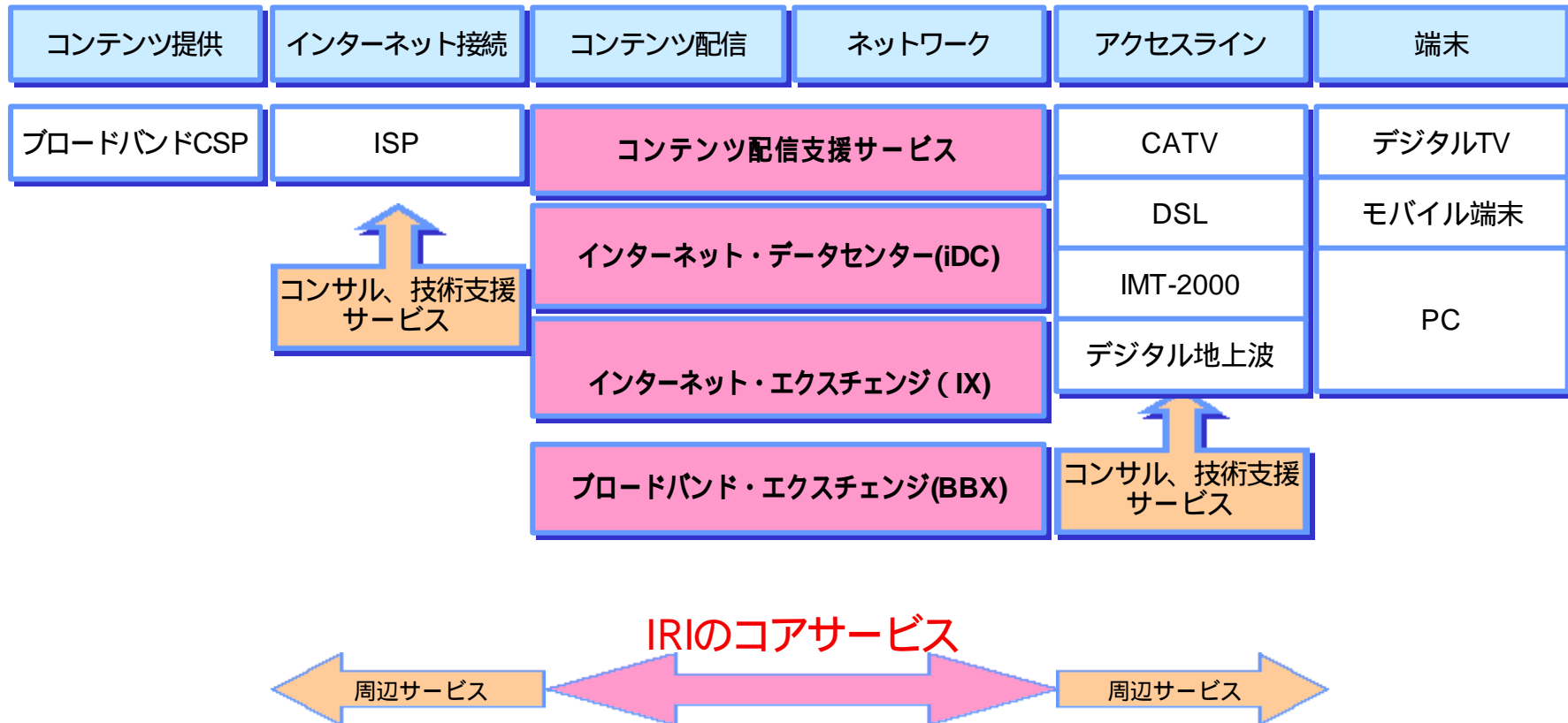
# BBXの事業領域



# BBXの戦略的なパートナー



# IRIのコア事業領域



## 段階的に高レバレッジな収益構造にシフト



STEP 1(97/7 ~) : JPIX(インターネット・エクスチェンジ)

出資比率 : 2%

収益構造 : 技術コンサルフィー、非連結

STEP 2(2000/4 ~) : GCTR(インターネット・データセンター)

出資比率 : 11%

収益構造 : 技術コンサルフィー + 売上インセンティブ、非連結

STEP 3(2001 ~) : BBX(通信・放送融合のプラットフォーム事業)

出資比率 : 50 ~ 40%

収益構造 : 事業主体を担う 連結対象企業